

上越教育大学研究プロジェクト 終了報告書

研究代表者 所属・職名 音楽・准教授

氏名 玉村 恭

研究期間 令和4年度～令和5年度

研究プロジェクトの名称	ICT を活用した音楽（科）授業方法と教材の開発 ～Society 5.0 を見据えた音楽（科）教育および教員養成～
研究プロジェクトの概要	<p>本研究の目的は、音楽（科）教育において有効な ICT 活用とはどのようなものか、授業の実施にあたり教育機器をどの程度、どういう形で用いるのが効果的か、教員養成カリキュラムを題材にして探究することである。</p> <p>二年間を通して、音楽分野で開講している教員養成科目について ICT 活用の可能性を検討し、実施可能と判断されるものについては試行して、有効性を検証する。具体的には、紙または冊子の形で配布している教材や資料を電子データ化する、データ化した資料等をクラウド上にストックしてアクセス可能な状態にする、授業や演習の一部または全部を記録・録画した上でオンデマンド型への転用を試行する等、教育活動をさらに効率よく、かつ効果的に進めていくための具体的な方途を案出・試行する。</p>
研究成果の概要	<p>一年目は、音楽科においてどの部分にどのような形での ICT 活用が可能か、また ICT を活用することでどのような効果があがるかを分担者間で協議・討議した上で、ブリッジ科目「音楽」、専門科目「音楽史Ⅰ」「日本音楽 AⅠ」「日本音楽 B」の授業の記録（撮影・編集）・分析を行い、デジタル教材作成の可能性の検討やオンデマンド化可能な部分の抽出を行うとともに、ピアノの奏法解説動画および見本動画の試作版を作成した。</p> <p>二年目は、一年目の作業や検討の成果を踏まえて、試作版動画教材やデータ化した教材（楽譜や音源資料）を Google Classroom を用いて配信・配布し、対面授業とオンデマンド授業、リアル素材の教材・教具とデジタル教材・教具の併用による授業運用を開始した。並行して試作教材の手直しを行い、教材のブラッシュアップをはかった。</p> <p>二年の作業を通して、ピアノやリコーダーの奏法解説の動画教材、ピアノや弾き歌いの見本動画教材は、一定の完成度をもったものを作成することができた。またデータ化した資料を実際に配布したり、小テストやアクションシートをオンライン経由で配布・回収したりして、ICT を活用した授業運用についても効率的・効果的なやり方が見えてきた。</p>
研究成果の発表状況 (※今後の予定も含む。)	2022 年 11 月の日本音楽教育学会全国大会で代表者の玉村が、2024 年 3 月の日本管楽芸術学会全国大会で分担者の長谷川が研究発表を行い、成果の一部を反映させた発表を行った。また、試作教材を使った授業の受講学生にアンケートをとったので、それと学業成績等との相関を調べる分析作業を行っている。分析結果を学会等で発表した後、論文化する計画である。
学校現場や授業への研究成果の還元について	プロジェクトにかかわった音楽所属の学生・院生や検討対象となった授業の受講生らにはプロジェクトの趣旨そのものを伝えており、また研究結果の一部をゼミや授業等で共有している。彼らが教職に就いた際に、得られた成果を生かした教育活動を展開してくれるだろう。また、今後教員研修の場や学会発表、論文発表などの成果発表の機会を通して、教育現場にも成果の共有をはかってゆきたい。